



ぶらり丹波路

BURARI-TAMBAJI



丹波みつけ旅! 周遊サイクリング!

特集



2021年
9月
発行

兵庫丹波観光ネットワーク推進委員会



あじま 味間エリア

所要時間 約2時間



JR篠山口駅東口 サイクルポート

篠山口駅東口にあるレンタサイクル。駅前という立地で電車を降りてすぐに自転車を借りることができます。電動アシスト自転車40台、普通自転車(小型)10台と保有台数もたっぷり。

丹波篠山市大沢(JR篠山口駅構内)
TEL.079-506-1535

◆営業時間/9:00~17:00
(11月は16:00まで)

◆休業日/12月~2月

◆利用料金/電動自転車1,000円、普通自転車800円



地図情報



青池

鳥の鳴き声が聞こえてくる、自然豊かな青池。旧垂水警察署の庁舎だった建物を移築改装した洋館の眺めは、まるで海外の湖のよう。

丹波篠山市東吹

◆アクセス/JR「篠山口駅」から自転車約10分。



地図情報



茶遊菓楽 諏訪園 本店

休憩するならお茶とお菓子の専門店、諏訪園がおすすめ。駐輪場だけでなく、空気入れの貸し出しも行っているので休憩に最適です。店内では、3種類から選べるお茶や、季節によって果物が替わる大福や和菓子が楽しめます。

丹波篠山市味間奥5
TEL.079-594-0855

<https://www.suwaen.cc/>

◆営業時間/9:00~17:30(喫茶 LO 17:00)

◆定休日/不定休

◆アクセス/JR「篠山口駅」から自転車約10分。



地図情報

コースマップ



Google mapに
つながる!



兵庫丹波地域の観光ポータルサイト



本誌ライター前畑夫妻の
取材後記や
ここで紹介できなかった写真も
ご覧いただけます

お問い合わせ

兵庫丹波観光ネットワーク推進委員会(兵庫県丹波県民局産業振興課内) TEL(0795)73-3782

丹波県民局ホームページ <https://web.pref.hyogo.lg.jp/area/tanba/index.html> ⑧土・日曜日、祝日、年末年始

※注意:掲載している情報は、令和3年8月27日現在の内容です。発行後、変更になることもありますのでご了承ください。詳細は各施設へお問い合わせください。

丹波みつげ旅！ 周遊サイクリング！



兵庫丹波チャレンジ 200

自転車といえば、身近で手軽な乗り物であり移動手段の一つ。そしてまた、立派なスポーツであり趣味でありレジャーでもあります。通い慣れた場所なら、少し寄り道をしたり遠回りしてみたり。それだけでも、意外な発見があるかも知れません。自転車も丹波路も、楽しみ方は人それぞれ。今回もウェブ「ぶらり丹波路」に写真を掲載されているフォトライター・前畑夫妻が、丹波でのサイクリングの楽しみ方をレポートします。

ここ数年、健康志向と相まってスポーツサイクル人口が増加するなか、丹波地域では令和元年度にサイクリングモデルルート「兵庫丹波チャレンジ200」が設定されました。スタート・ゴール地点となるのは県立丹波並木道中央公園。全長約200kmのコースは平坦な田園地域や高低差のある峠など変化に富んでいて、いろんなルートを選べるので初心者から熟練者まで幅広く楽しめそう。マイカーで自転車を運んで、好きなエリアを巡るのもおすすめ。また、鉄道も輪行バッグを利用すれば可能なので、駅を発着地点として丹波地域を周遊するのも面白そう。3つの道の駅や公園があり、多くの休憩施設があるので安心して走行できます。ルート付近には篠山城跡、黒井城跡のほか多くの寺社仏閣や、桜や紅葉をはじめとした四季折々の風景、丹波竜や丹波焼などの観光資源が盛りだくさん。そのほか整備された公園、ダム、池なども見どころ。何度訪れても、丹波地域の豊かな自然や文化を肌で感じる事ができそうです。



スタート & ゴール

丹波並木道中央公園



丹波並木道中央公園内には様々な植物や、棚田、茅葺民家、子どもたちが楽しめる遊具など、丹波の魅力が凝縮されており、サイクルステーションも新たにオープンしてどの世代が訪れても楽しめます。ティラノサウルスとトリケラトプスの動く恐竜模型はそのリアルな動きに子どもたちも興味津々。丹波地域では、さまざまな恐竜の化石が発見されていると聞くと、古代恐竜へのロマンがどんどん広がります。

丹波篠山市西古佐90番地 TEL.079-594-0990
<http://www.hyogo-park.or.jp/tanba/>
 ◆営業時間 / (管理事務所) 9:00~17:00
 ◆休園日 / 12月29日~1月3日
 ◆駐車場 / 普通車110台、大型車5台
 ◆アクセス / 舞鶴若狭自動車道「丹南篠山IC」から約5分。JR福知山線「丹波大山駅」から徒歩約15分。



10月には
サイクルステーションが
新たにオープンし
サイクリング中に
ほっと一息できるのも
嬉しいポイント。

施設内容
 休憩・フリースペース
 更衣室、シャワー室、トイレ

サイクルステーション(イメージ図)

道の駅あおがき

道の駅あおがきは、お土産やお菓子、野菜や花が販売されている売店や、地元特産品の手作りこんにやくがいただける「おいでな青垣」という食堂もあるので休憩だけでなく、食事するのもおすすめです。丹波布伝承館もあり、様々な糸や機織り機なども見ることができます。観光案内所にはレンタサイクルも2台あります。

丹波市青垣町西芦田541番地 TEL.0795-87-2300
<http://eki.aogaki.jp/>
 ◆営業時間/9:00~17:00(食堂は10:30~14:00)
 ※12~2月は10:00~15:00
 ◆定休日/火曜日(祝日の場合は翌日)
 ◆アクセス/北近畿豊岡自動車道「青垣IC」からすぐ。



地図情報



後半戦のスタートは道の駅あおがき。駐車場に車を置いて、売店で水分を確保します。ここからはもみじロードのある427号沿いを走ります。ズドンと伸びた一直線の道はただ長いただけでなく、左右どちらも丹波の自然豊かな風景に囲まれていて、サイクリング好きの心をくすぐる魅力的な道。山を眺めながらのサイクリングは走っていても気持ちがいいです。少し上り坂ですが、緩やかなので全く気になりません。3Roasteryに到着しました。自転車を置き、一歩足を踏み入れるとお洒落な空間に、コーヒーの良い香りがお出迎えしてくれます。種類も多く気になるものばかりで、どれにしようかと悩んでいると、今の気分にあったブレンドを作ってくださることに。自転車で走って体が温まっていたので、冷たくさっぱりした甘いものをオーダー。ドキドキして待っていると、出てきたのはピンク・透明・茶色の3層に分かれている「ストロベリーエスプレッソニック」というコーヒー。カップにはイチゴのイラストも描かれており、女心をくすぐる可愛さ。初めは甘酸っぱいイチゴサイダーのようなのですが、後からしっかりコーヒーのほろ苦さが追いかけてきます。とても爽やかな味わいで、ずっと飲んでいたくなります。

あおがき 青垣エリア

所要時間
約3~4時間



詳しくはWEBへ



自然いっぱいこの国道427号。夏には新緑、秋にはもみじが楽しめます。自然のパワーなのか、走っていても全く疲れません。

国道427号
(もみじロード)



御菓子司 荒木本舗

毎日手作りの和菓子がずらりと並ぶ荒木本舗。特に生菓子は綺麗な花の形になっているものもあり、うっとり見惚れてしまいます。和菓子だけでなく、プリンなどの洋菓子も販売しているので、お土産にもぴったりです。



丹波市青垣町小倉891-6
 TEL.0795-87-0108
 ◆営業時間/8:00~18:30
 ◆定休日/月曜日(祝日の場合は営業)
 ◆アクセス/「道の駅あおがき」から
 自転車約6分



地図情報



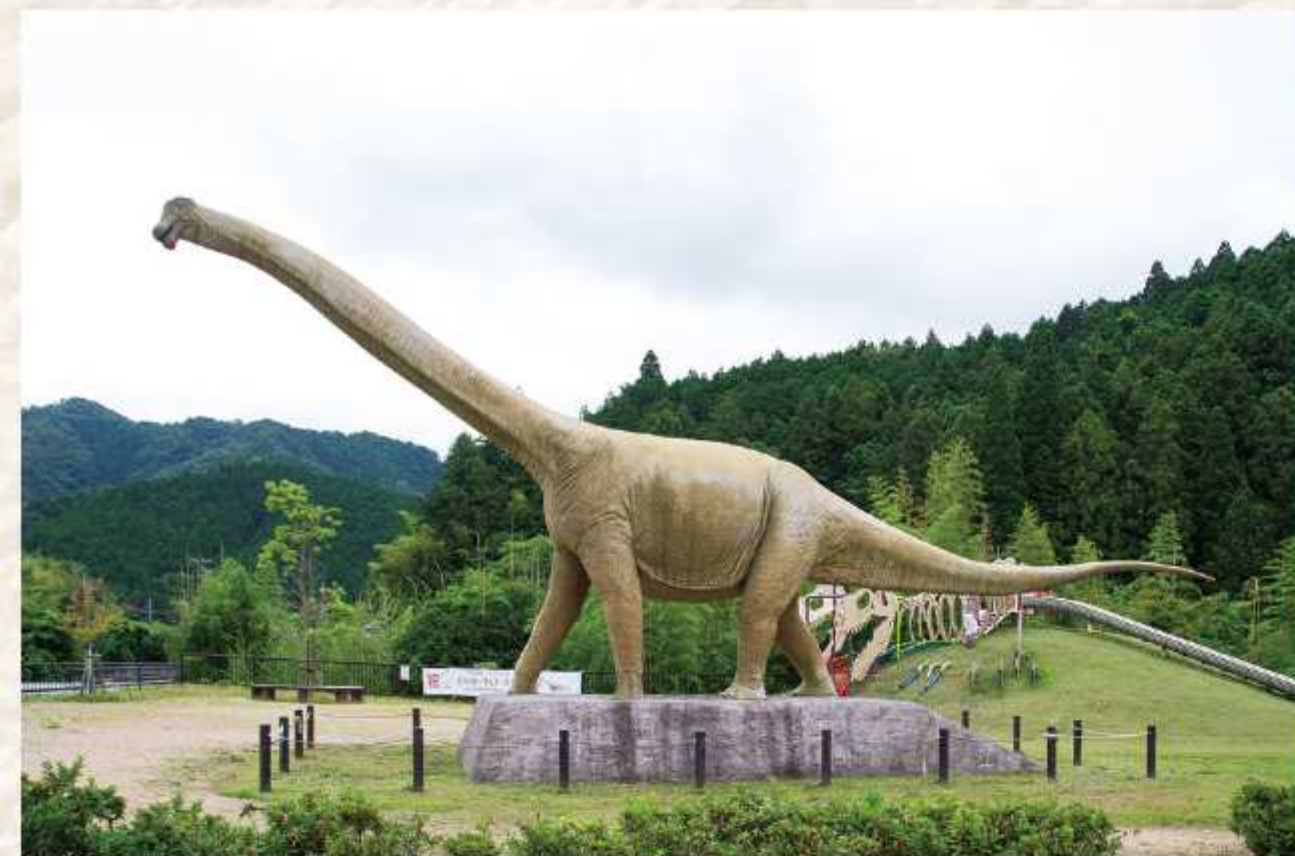
3Roastery

3Roasteryは、元々小屋だった場所をリノベーションして作られたコーヒー屋さん。ショーケースにはコーヒーに合う、クッキーなどのお菓子がずらりと並んでいるので、セットで注文するのがおすすめです。店の周りにはテラス席もあるので、景色を満喫しながら至福の癒しタイムが味わえます。

丹波市青垣町小倉422-1
 TEL.0795-88-5777
<https://www.3roastery.com>
 ◆営業時間/月・火…11:00~16:00
 土・日…10:00~17:00
 ◆定休日/水・木・金曜日
 ◆アクセス/「道の駅あおがき」から自転車約10分



地図情報



丹波竜の里公園

体長15m、体高7mの実物大の丹波竜のモニュメントがお出迎え。恐竜型の遊具もあり、子どもに大人気のスポット。すぐそばの元気村かみくげでは地元野菜や特産品の販売の他、化石発掘体験もできます。



地図情報

丹波市山南町上滝1913-1
 ◆アクセス/「丹波並木道中央公園」から自転車約30分。



おにぎりとお米のレストラン 千華

丹波産の美味しいお米が食べたい方におすすめなのは、おにぎりとお米のレストラン千華。お店のためだけに、自家農園でお米や野菜を栽培するなど、材料にとことんこだわったメニューはどれも絶品。緑豊かな丹波の風景を見ながらいただくおにぎりは、自転車で走って疲れた体を癒してくれます。



地図情報

丹波市山南町北太田234 TEL.090-6232-0831
<https://www.senka-tanba.com/>
 ◆営業時間/11:00~14:30(予約優先制)
 ※土・日のみ営業
 ◆アクセス/「丹波並木道中央公園」から自転車約1時間。

今にも恐竜が歩いてきそうな雰囲気。本物の丹波竜はどれくらい大きかったんだろう。そんな疑問を解決すべく、丹波竜の里公園へ。ここには実物大の丹波竜のモニュメントが設置されています。とても首が長く、体長なんと15m。この辺りをノシノシ歩いていたのかと思うと、景色もまた違って見えるような気がしました。お腹も減ってきたところで、おにぎりとお米のレストラン千華へ。田んぼを一望できる特等席でおにぎりランチスパシャルをいただきます。一口頬張ると、海苔の香りが口中に広がり、塩加減も最高。そして何よりお米が甘い。お米が一粒一粒立っていて、外から見ても中を見ても、こんなに綺麗なおにぎりを見たのは初めてかも。野菜のかき揚げや、ふっくらとした黒枝豆、どれも美味しく、特に貝沢山のお味噌汁は疲れた体に染み渡ります。



詳しくはWEBへ



川代公園

川代公園には、渓谷を真上から見ることのできる、長さ90メートルの木製吊り橋があります。歩くとギンギン揺れて、まるでアトラクションのよう。桜の名所としても有名で、春になると渓谷沿いに咲く美しい桜を見ることができます。



地図情報

丹波市山南町上滝
 ◆アクセス/「丹波並木道中央公園」から自転車約25分。



山南エリア



所要時間
約3時間

福住エリア



所要時間
約2時間

「いつか家族でサイクリングに出かけてみたい。」子どもが小さいため、一緒にサイクリングに行けるのは何年も先だと思っていたのですが、そんな夢を叶えてくれるお店に出会えました。向かった先は丹波篠山市福住にある



自転車工房ハイランダー。元旅館で、築300年とも言われる古民家を活用した珍しい自転車屋さんです。1階の和室に子ども用、2階には大人用の自転車を展示。カラフルで可愛らしい形のものも多くて思わず心が躍ります。

店主の村上さんは高校生の頃から自転車に興味を持ち、自身もロードレースの選手だったという、生粋の自転車好き。既製のものを購入するのはもちろん、自分のスタイルにあった1台にカスタマイズしてもらうことも可能です。プロの視点からのアドバイスもいただけるので、今から自転車をはじめたい方にもおすすめです。

自転車販売以外にも予約制でサイクリングツアーも開催。ニーズに合わせてコースを決め、村上さんがアテンド。丹波篠山の町でサイクリングを楽しむことができます。また、お店では急な故障も見られるので心強いです。自転車修理の様子も見せていただいたのですが、まるで語りかけるように優しく接している姿が印象的でした。自転車愛が伝わってきます。いよいよ、お目当ての子どもを乗せて一緒に走ることができるとサイクルトレッラー付きの自転車に乗ります。子どもが2人乗れる大きさを、シートベルトもしっかりしているの落ちる心配ありません。

自転車工房 ハイランダー 福住店

丹波篠山市福住372 TEL.080-5311-7829
<https://high-lander2.com>
 ◆営業時間/10:00~18:30 ※土・日・祝のみ営業
 【レンタサイクル】ミニベロ3台、サイクルトレッラー1台
 ◆利用料金/1,000円/台~



さっそく、福住の町をサイクリングしてみることに。伝統的建造物群保存地区に指定されていることもあり、歴史ある建物が数多く残っています。ゆっくり町並みを見ながら巡ります。まず向かったのは、SHUKUBAという廃校を活用した施設。校舎の前で懐かしい二宮金次郎像がお出迎えてくれます。階段を登っていくと、今にも子どもたちが走ってきそうな廊下。教室はアトリエやギャラリーなどに生まれ変わっており、見学できる場所もあります。歴史ライブラリーでは、福住の大きな手書きマップや旧篠山線の模型などを見学。ギャラリーでは自然を撮影した古典技法による大型プラチナプリント作品をみるができます。セピア調の独特な色合いで、まるで絵画のよう。すっかり見入ってしまいました。

ちょっと喉も渴いたところでお次はMAGNUM COFFEEへ。店内は広々としていて、落ち着いた雰囲気。山の景色を眺めることができる、窓際の席に座ります。コーヒーとフレンチトースト、娘にはオレンジジュースを注文。コーヒー豆は全てオーガニックのスペ

MAGNUM COFFEE

元芝居小屋をリノベーションして造られたMAGNUM COFFEE。落ち着いた雰囲気、コーヒーをゆったり楽しむことができます。オレンジジュースや、国産小麦・きび糖などで作った優しい味のお菓子もあるので、子連れでも大満足。

丹波篠山市福住317 TEL.080-9471-7894
<https://magnumcoffee.thebase.in/>
 ◆営業時間/平日……10:00~18:00(LO 17:30)
 土・日・祝 8:00~18:00(LO 17:30)
 ※年末年始休業



シャルティ、お菓子の素材も遺伝子組み換えでないものを使用するなど、子どもでも安心していただくことができるのが魅力。どれもほっこりする味わいで、娘との会話も弾みます。

MAGNUM COFFEEを後にして、再びハイランダーへ。福住の町は、自転車に乗っているの、歩くより早く移動しているはずなのに、時間がゆっくり流れているような気がするから不思議です。娘も初めて乗るサイクルトレッラーの虜になったよう。小さい子どもがいてもサイクリングを一緒に楽しめる。そんな夢が実現し、遊びの幅がぐんと広がりました。



近くの路地で、子ども用の自転車の試乗。車が通れない道なので、子どものペースで走ることができます。初めて乗る自転車に大喜び。



自転車の後ろにサイクルトレッラーが装着された自転車。子どもと一緒にサイクリングが楽しめる優れたもの。ベルトも付いているので、子どもも安心して乗せることができます。

SHUKUBA (旧福住小学校)



2016年に閉校した旧福住小学校を活用した施設「SHUKUBA」。かつての教室が、農産加工所や写真ギャラリー、テナントとして生まれ変わりました。ここでは、地元で取れた鹿肉や椎茸の缶詰をお土産に購入することができます。

丹波篠山市福住342 TEL.090-1915-2791
<https://www.shukuba.life/>
 ◆営業時間/施設にお問い合わせ下さい

